

1. 件名：「日本原燃（株）廃棄物埋設施設の保安規定変更認可申請に関するヒアリング」
2. 日時：令和5年9月5日（火）15時30分～16時55分
3. 場所：原子力規制庁 10階会議室 ※一部、TV会議にて実施
4. 出席者  
原子力規制庁  
原子力規制部  
研究炉等審査部門  
栗崎企画調査官、真田安全審査官、上野管理官補佐、大塚安全審査専門職、大島原子力規制専門員  
日本原燃株式会社  
埋設事業部 低レベル放射性廃棄物埋設センター  
埋設運営部 課長 他4名  
東京支社 技術部 運転管理グループリーダー  
九州電力株式会社  
原子力発電本部 廃止措置統括室  
廃棄物運用対策グループ 課長 他1名
5. 自動文字起こし結果  
別紙のとおり  
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
6. 配布資料  
資料1 核燃料施設等の新規規制基準適合性に係る審査会合（第490回）における指摘事項への回答  
参考資料1 第490回審査会合資料（放射能濃度に係るスケールリングファクタの新規設定等）  
参考資料2 第490回審査会合資料（廃棄物埋設施設1号埋設設備6群放射能管理の変更）

#### 参考

- ・日本原燃（株）から濃縮・埋設事業所廃棄物埋設施設に係る保安規定の変更認可申請を受理－放射能濃度に係るスケールリングファクタの新規設定等－（令和

5年6月26日)

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/WAS/170000001\\_00008.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/WAS/170000001_00008.html)

- ・日本原燃(株)から濃縮・埋設事業所廃棄物埋設施設に係る保安規定の変更認可申請を受理—廃棄物埋設施設1号埋設設備6群放射エネルギー管理の変更—(令和5年6月26日)

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/WAS/170000001\\_00009.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/WAS/170000001_00009.html)

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	原子力規制庁の大嶋でございます。そうしましたら、ウラン懸念濃縮埋設事業所廃棄物埋設施設保安規定変更認可申請に係るヒアリングの方始めていきたいと思ひます。
0:00:17	メンバー紹介の方に割愛させていただきます、
0:00:21	資料1に、
0:00:23	基づいてですね、県連さんの方からご説明の方お願いできればと思ひます。
0:00:32	はい。日本原燃の浜中でございます。資料1ですけれども、タイトルの通り、先週行われました第490回の審査会合における指摘事項への回答ということでまとめたものでございます。
0:00:46	資料の説明に入る前にちょっと1点お断りのご相談なんですけど、前回の審査会合で、スケージングファクターの新規設定の説明の際に、原因の一つとして軽微な燃料損傷、
0:01:00	というような言葉で説明させていただいたんですけども、ご指摘も踏まえて入社登録情報を確認したところ表現がちょっと異なっておりまして、
0:01:11	次回の会合で、ちょっとその旨訂正させていただきたいのと、もし今回の資料で言いましたら14ページにニューシアの、
0:01:21	ことが書いてあるのですが、そこで表現を、軽微な燃料損傷から燃料棒からの微少等へというような表現にちょっと訂正させていただきたいのと、
0:01:34	今回の資料からちょっと訂正をした、用語で使わせていただいております。で、まだちょっと規制庁さんのご発言の部分については軽微な燃料損傷のまま、A、
0:01:49	今回は今日の時点の資料では扱っているのですが、もしよろしければ次回の会合に向けてその部分も訂正させ、修正させていただければと思ひますが。
0:01:59	その点よろしいでしょうか。はい、規制庁ですけれども
0:02:04	原燃の資料で直せ直す国は構わないと思ひます。
0:02:11	ただ、うちの指摘としては
0:02:14	軽微な燃料損傷、
0:02:17	という指摘でにしてもらえればいいと思ひますけど。
0:02:22	要は、要は、
0:02:25	前回会合で、軽微な年齢運動損傷っていう資料があったもんだから、うちとしても軽微な燃料損傷について、
0:02:36	伊勢指摘をしたっていうことなんで内野主席の紙としては軽微な燃料損傷にしてもらって、
0:02:43	改めて原燃が調べたところ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:49	軽微な燃料損傷ってのは適切な表現じゃなくて燃料棒からの微少な漏えいということだったので、それで資料をつくり直しました。従って今後の説明ってのは軽微な燃料、
0:03:01	燃料棒からの微少な漏えいにしますと、いうことにすればいいと思いますので、うちの指摘としては軽微な。
0:03:09	燃料損傷にしてもらって、原燃の資料のバックと回答としては、調べた結果として、燃料棒からの微小な漏えいに訂正しますと。
0:03:20	方がより正確だし、
0:03:23	かつもうちょっと突っ込んで言うとそのJSの、
0:03:26	報告書との関係でも、微小な燃料棒からの微小な漏えいの説明もしやすいと思うし、っていうところですかね。
0:03:36	はい。日本原燃の浜中です。
0:03:42	承知しました。今資料例えばちょっと1ページ目、開いていただくと、今回の資料構成として、
0:03:50	指摘事項それぞれに対して、最初に指摘いただいた内容を記載してその下に原燃の回答と、というような並びになっております。
0:04:00	なので上の方に書いてある、指摘いただいた内容の部分については、軽微な燃料損傷のまま、ここは規制庁さんの指摘ということなので、前回の審査会合での表現をそのまま、
0:04:15	残して原燃の回答等が、それ以降の説明の中では、基本的には軽微、軽微の燃料損傷ではなく、燃料棒からの微少な漏えいというような表現に変えさせていただいて、あとスケーリングファクターの3要素の話で来判断基準として使ってるところはもう来
0:04:35	分の定義がもう、燃料損傷なのでそこは燃料損傷にしたいと思うんですが、そのような、もう使い分けで資料内は統一してお出したいと思います。
0:04:46	はい、規制庁サービス問題ないと思いますはい。
0:04:50	日本原燃浜中です。ありがとうございます。では資料基本的には、ご指摘いただいた順番で指摘事項並べておりまして、ナンバー1からナンバー切るということになっております。
0:05:03	今、今、町の段階では、まず1から順番にちょっとご説明させていただくという流れでよろしいでしょうか。
0:05:11	はい。
0:05:13	はい。では1から順番に担当の方から説明いたします。
0:05:22	はい。日本原燃の佐久間でございます。資料、スライド、1ページ目をご覧ください。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:32	(1)番としまして前回ご指摘いただいた内容について、今回、SAFを審議設定しようとする原価発電所の廃棄体についても、期昔の考えか。
0:05:44	昔の考え方を適用できる根拠をまとめて説明することというふうなご指摘をいただいております。まず、回答に行く前にですね、まず、スライド2ページ目から4ページ目まででございますけれども、
0:06:00	そもそも、過去の考え方といったものはどういうものですかといったところを整理したのがスライド2ページ目以降になります。
0:06:09	まずこちらの方です。スライド2ページ目の方は、旧原子力安全委員会で承認された廃棄体中の放射能濃度の決定手順についての検討中。
0:06:20	検討の中身の補足説明資料より、抜粋してございます。
0:06:24	ここはですね、助難測定核種のうち、相関関係のある9核種の相関関係のある満足については、スケーリングファクター法を使えることができますよと。
0:06:37	なおかつそのスケーリングファクターAの値は、何則と計画書の各種比の算出平均値を用いるといったことを淡々と説明してございます。
0:06:51	スライド3ページになりますしなりますけれども、こちらの方もですね、先ほどのスケーリングファクター。
0:07:00	の考え方に基づく統計手法の考え方に今度なります。こちらの方はですね、中段から下段の方に書いてございますけれども、
0:07:10	データの青字で書いております通り、データのばらつきが問題となる最大放射能濃度検定検討においてはですね、体制線形モデルの適用が適切であると。
0:07:21	これは労力で、体制で、分布をとることによってですね、分布をうまく表現できるといったそういった性質上体制設計モデルを用いるのが、
0:07:33	適切であろうと、いうふうに過去、そういった検討がなされてございます。
0:07:39	ですが、今回平均値を求める最確値を求めるっていう意味からすると、平均値を求めるというふうな手法については、対数設計モデルでは、
0:07:52	なかなかそれは示しづらいということで、こちらの方については線形モデルによる最終事情会を用いるのが適切だといったことで、過去、そういった経緯、検討がなされていたという事実を淡々とこちらの方に抜粋させていただいております。
0:08:08	スライド4ページ目になりますけれども、こちらの方はですね、敦賀発電所の昨今のJ-R%の設定変更の実績がございましたけれども、
0:08:20	こちらの方もですね、4カ年で4点というデータの算術平均値を用いて、継続食う、Fの設定変更してございますけれども、こちらの方も、当初懸念からお話しさせていただいた検討結果について、
0:08:39	JNESさんの方にご認識いただいたという実績を淡々と書いてございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:45	で、スライド 1 ページ目に戻りますけれども、結論としまして回答欄に記載の方を させていただいておりますが、
0:08:54	間瀬衛藤町檀から読み、読み上げ、読み上げますと、今回のS新規設定にあつ ては、サンプルデータ数の違いはあるものの、
0:09:05	旧原子力安全委員会です承された考え方、いわゆる算術平均ですね、こちら、後 段に書いてますけども難測定核種と計画しの、
0:09:15	放射能濃度比の算術平均値として算出する本準じで、
0:09:21	適用できるものと考えておりますっていうのが前提でございます。その次の 0 点で ございますけれども、今回のSF新規制定にあたって使用するサンプルケーター は、
0:09:33	各年度の発生廃棄体のうち、表面線量当量率分布が多く、表面線量当量率が比 較的高いものを選定していることから、
0:09:43	データ数が少ないものの、年度の代表性は担保されていると考えてございます。
0:09:50	3 点目ですが、こちらは先ほど敦賀で実績がありますというふうなご説明をさせて いただきましたが、こちらの方、こちらの設定の際もですね。
0:10:02	各年度代表 1 点。
0:10:05	であることが、が今回と類似しており、これは、この場合も、算術平均値を用いて、 設置変更したといった企業も踏まえて、
0:10:15	日本原燃としましてはですね、過去のやり方を準用する。
0:10:23	過去のやり方に準じて、今回適用できるといったことについては、問題はないとい うふうに、者として判断してございます。
0:10:33	簡単ですが説明は以上となります。
0:10:37	はい。
0:10:40	ふうん。
0:10:43	ちょっとよくわからない。いやちょっとすいません。今日比べてきたもんですから、 今資料。
0:10:52	初めて目を通しまして、
0:10:55	事前には確認してないんだけど、そう。
0:11:05	フジッコ間でない。
0:11:25	1 ページ目の 3 ポツ目の対応はいいのかなと思うんですね。
0:11:30	ていうのはその、
0:11:33	1 ページ目の 3 ポツ目。
0:11:40	に対しては、
0:11:45	この 4 ページ目の、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:48	いやそのJNESで何をやったのか。
0:11:51	ていうのを淡々と書いてもらって、
0:11:56	そのジェイスの時にやったその算術平均と全く同じことをしてる。
0:12:01	ていうことで、それは、
0:12:03	いいのかなと思います。
0:12:07	3 ボツ目。
0:12:15	各年度代表 1 点であることが今回と類似しておりっていうのはこれは何なんでしたっけ。
0:12:26	はい。日本原燃のサキノでございます。今回玄海のSFの新規設定に関しましては、2020、2012 年度が 1 点、2013 年度が 1 点。
0:12:39	2014 年度が 1 点の計 3 点のデータとなります。玄海の方見解ではなくてツルハの方で過去に継続した。
0:12:50	時はですね、平成 18 年で 1. 平成 19 年で 1.20、平成 21 年で 1.20、平成 22.2 年で 1 点と。
0:13:01	各年度ごと 1 点ずつの、算術平均値を使ってるということで、各年度 1 点ずつ代表サンプルを、
0:13:10	代表サンプルを取得し、選定してるという意味では、同じやり方をしていきますということになります。以上です。
0:13:21	その 1 点っていうのは何層誇るべきことなんですかね。
0:13:26	規制庁佐田ですけども。
0:13:37	1 点でいいのっていう議論にはならないんですか。
0:13:48	その算術平均いろんな平均のとり方がある中で、
0:13:52	その算術平均を採用してそれはその 9、
0:13:58	JSのレポートでも、タイやったやり方ありますと。
0:14:03	その具体は前回会合の資料ではなかったものですから今回この資料に入れて、
0:14:10	しっかり 90sでも参事正規を採用していて、
0:14:15	今回もちゃんと参事清金を使っている。
0:14:20	従ってこの平均の取り方には問題がないと、というのは合意は取れるんですけどこの、
0:14:26	1 点であるっていうのは、誇れることなんでしょうか。
0:14:31	1 点しかないのいいのかっていう話はならないんですかね
0:14:36	ここの 90sもその 1 点であるっていうことを、そんなに詰めてないんじゃないですか。
0:14:45	旧JNES時代に詰めてるんですかね 1 点の話を。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:50	日本原燃の浜中です。ご指摘の点、1件今回1点でやっていることが妥当なのかというところですけども。
0:15:00	ちょっと1ページ目の話の流れは、一つ目のポツでは、サンプル数も違いはあるんですが、キュウゲン安易で、新規設定、従来設定というか当初の設定をする際に、
0:15:15	複数のサンプルデータの難測定核種と計画中の、
0:15:19	計核種の濃度比を算術平均して出すというやり方で今回も少なくとも算術平均を使うと。ただサンプル数の違いについては、二つ目のポツのところ、
0:15:32	今回はサンプルデータ各年度1点ということで少ないんですが、1000正面線量率の分布が多いグループから、その中でも線量当量率が比較的高い。
0:15:46	ものを選ぶという代表性の話で、他のサンプル、取っていない実際は取っていない廃棄体のデータを代表できる1点であると、いうことをベースに、準移行の考え方が、このやり方が適用できるというふうな考え方で今回、原燃としては、
0:16:05	考えているというところです。この代表性の善し悪し妥当性につきましてはちょっと別なページに、説明を書いておりますちょっと代表性のところを先に説明させていただいてちょっと議論できれば、
0:16:22	いや、こちらはそうそうなんだとするとそんなんとかその、
0:16:30	1点であることが類似している。
0:16:34	ていうのはいるのか、そこがさ振られればいいのかもしないけど。
0:16:46	KJSもその1点であること等を、なんかそんな高らかに良しとしてるわけでもない、ないんじゃないかと思うんでその算術平均を用いているっていうこのファクトが合ってるっていうのは、
0:17:00	藤間グリーンなんですけど、その1点。
0:17:05	求人性もファクトとしては、1点だったんだけどその、1点だからいいんですっていうのを高らかに言うというよりはこの1ページ目のその、
0:17:16	各年度、3ポツの各年度代表1点であることは今回と類似している。
0:17:22	ていうのは、これなくてもいいと思いますけどね。
0:17:26	す。ただ、各年度代表1点でいいのかっていうのは説明してもらわないといけないんでそれはその2ポツ目のところで、
0:17:37	ちゃんと説明し切ると、あんまり強いんじゃないすかねいうのでどうですかね。
0:17:44	笹田さん一点補足よろしいですか。どうぞ。
0:17:47	衛藤JSのときのJNESのEVレポート、敦賀の時のレポートですけども、この時と今回の違いは、敦賀の時には濃縮廃液を測ってるんですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:17:59	要は液体廃棄物を取っているの、何て言いますか、液体なので中を均一化させれば、1点の分析であってもある程度粘土代表性はあるとはいえるはずなんです。確かそのときはそういう議論だったんですね。
0:18:12	1点だからいいという話をしたことがなくて、
0:18:15	結局その見ていたのは、年度年度代表性がきちんと説明できますかという観点で、別途説明を求めて、
0:18:22	当時の原電の説明は、液体廃棄物なのでこういう方法で、所定の時間攪拌されれば中は均一になりますと、そこから1. サンプルをとって分析しました。なので、
0:18:36	年度代表性を有するサンプルですという説明だったので確かJNESの時はそれでよしとしてるはずなんです。
0:18:42	で、今回は廃棄体の分析をしているので要はその廃棄体が
0:18:48	例えば2012年ですと7本発生してるということなんですけれども、多分その7本の中が全部均一な組成であるというのが説明できれば、
0:18:58	1点の分析で粘土代表性を担保し、できるってのはいえると思うんです。ただ
0:19:04	と言ったからどうこうという山根年度代表性をどう説明するのかってことだと思う。いうのと、
0:19:13	あと
0:19:15	10ページ見ると、表面線量が高いやつを選びましたっていう書き方になってるんですけど、表面線量が高いってことは、
0:19:26	要は接種、セシウムが多いってこと。セシウムとかコバルトが多いということになると思うんですけど、そうするとセシウムと全 $\alpha$ の核種組成比、比をとるとちっちゃい側に行くはずなんですよね。
0:19:38	それで、
0:19:40	いいんですかってのはちょっと若干消えました要はその表面線量率が高いやつから取ったので大丈夫ですってところをことさらに強調すると。
0:19:47	それで核種組成比が小さい側に行きますよねとは思いますが。
0:19:51	それで非保守側の評価になりませんかと言われませんかというのが気になりました。
0:19:59	わかりました。なので、
0:20:05	そこからお任せしますけど下ですね1ページ目の各年度代表1点であることが今回と類似しておりっていうのは、いらないと思いますと、あってもいいですけどあったら会合で、
0:20:18	指摘するんで。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:21	そこはなくてもいいと思いますので、2 ポツ目の話は了解で少し議論もあるようなので、詳細は、どっかの回答し、譲りますみたいな感じで説明してもらえれば。
0:20:35	宇井のかなというふうに。
0:20:38	思います。
0:20:40	で、
0:20:41	2 ページ目以降の、
0:20:48	2 ページ目の一番初めの山根の、
0:20:52	会議体中の放射能濃度決定手順について、
0:20:57	の検討に係る補足説明資料とこれは何なんでしたっけ。
0:21:08	はい。日本原燃のサキノでございます。これはですねSTAヒアリングもしくは、廃棄物部会等で、この具体的な決定手順、
0:21:22	を定めるにあたって、その中身の細部について、当時甲斐議長と電事連大で、
0:21:32	そういったQAのやりとりの中で、いろいろ細かに検討した、説明資料の中から引っ張ってきてございます。
0:21:40	了解なんですけど、ちょっと位置付けを明確にしといた方が良くてオーソライズされたものなのか。
0:21:49	オーソライズはされていないんだけど、当時こういう議論がありましたのかっていえ、
0:21:56	僕は多分そのオーソライズされ、さらされた文章の添付書類として、
0:22:04	ついてたものを、
0:22:06	ではなくて
0:22:08	オーソライズされるにあたっての部会の資料で用いられたものとか、部会の資料でも用いられていなくて、その電力と、
0:22:19	原案との間で何か科技庁とかとの間でやりとりされたときに、提出資料なのかってちょっと資料の位置付けを明確にしてもらいたいんですけどそこはどうでしょうか。
0:22:31	はい。日本原燃のサキノでございます。はいおっしゃる通りですねこれ実際に日、
0:22:39	ベアリング資料って言った方がよろしいですねイメージ的には。はい。そういった形で、議事次第の内容できちっと呼び込まれてる資料でございます、
0:22:50	オーソライズされた資料かと言いますと、そういったものではないのかなという、そういう認識でございます。いずれにせよですねその辺オーソライズされたものなのか。
0:23:00	それともヒアリングの中で説明した資料なのか、その辺についてはちょっと補足を入れてですね資料の位置付けの方を明確にしたいと思います。以上です。はい。
0:23:10	よろしく願います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:12	その上で、ちょっとよくわからなかったのは
0:23:20	結婚さ。
0:23:22	で、位置付け明確にしてもらってこの文章自体は、2 ページ目と3 ページ目を入れてもらう分には構わないんですけど、今度 2 ページ目の 3 ページ目、どこを見ればいいんですかね
0:23:36	1 ページ目の 1 ポツのキュウゲン安易で了解された考え方に基づき、
0:23:46	普段測定核種時核種の放射能濃度比の 3 実平均値をまさに今回使ったんだと思いますけど。
0:23:55	参事平均処せさんす方法に準じて適用できるものと考えたっていうのはこれの 2 ページ目、3 ページ目のどこを見ればいいんですしたっけ。
0:24:11	はい。日本原燃のサキノでございます。2 ページ目はですね、まずスケールファクター方っていうのを、相関性があるものについてはスケーリングファクター法を使えるという事実がまず一つで。
0:24:25	それがですね(1)番の式になると思っております。算術平均という意味からするとですね体制労務の話も、下の方に下段に(3)番の式で出てきますけれども。
0:24:37	一番言いたいのはですね、また 1、一番下段の 2 行のまたっていうところの、
0:24:46	スケーリングファクターALPHAは、Y、スラッシュXの平均値であるといったことを言いたかったです。
0:24:52	はい。2 ページ目ですね、次が、そもそもこの統計手法、過去 502 統計、データで統計手法を取ってますけれども。
0:25:04	その考え方に基づくと、土佐最大放射能濃度、いわゆる青字で書いてるところにございますけれども、体制線形モデルや同計算でやった方がばらつきがよく見えます。見えますよと。
0:25:18	あとは一番下段の方にございますけれども、放射能濃度の平均値をとるのには、線形モデルによる最小時情報、いわゆる算術平均を使うのが、
0:25:30	一般的に適切であるといったことをこのページでは、節ご説明差し上げたかったと、いうことでございます。以上です。
0:25:41	その専権分での算術事情書いと平均値は違うんじゃないですかね。
0:25:51	おんなじなんでしたっけ。
0:25:53	原燃のサキノですけれども、この辺もですね当時甲斐議長の方とやりとりした中で、線形モデル等、対数線形モデルのイメージ図というのがございますので、
0:26:07	ちょっとそちらの方はですね次回ご用意したいと思っております。
0:26:13	も起こります。
0:26:15	要は 66 で線形とって

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:20	線形からのばらつきを、
0:26:25	事情で、
0:26:32	取ってるわけじゃない。
0:26:35	やっぱりよくわかんないわかんないとかそういうそもそも何かデータ数が少ないにもかかわらず園、
0:26:42	この議論できるんですかね。
0:26:47	データのばらつきが問題となると言ってるんだけどそんなにデータをとってないんじゃないですか。
0:26:54	要はデータ 1 各年度代表 1 点で、2011 年から 2010、
0:27:03	何年かまでだから数点しかなくて、
0:27:07	多分そんな重要自分でもない気がして、ちょっとよくわかんない。
0:27:14	日本原燃サキノでございます。はいサナダさんのおっしゃられる通りですねこれはあの当時 500 点でいたっていう、データの統計処理になりますので、
0:27:25	当然ばらつきがいろいろある中で最大放射能濃度を検討するには、ばらつきをよく見る対数先見モデルを取ってました。
0:27:35	当然ながらその 500 点データの一番お子さんが少ない、直線を引くのには、最小時情報というものを使いますといったことで当時の統計手法はこういったことを用いていますっていうことを、
0:27:49	ここではそういったことをですね過去のやり方を案に書いてるだけの話であって、おっしゃる通りですね、500 点データと 3 点データで、この統計手法の話をしててもですねおそらく。秦。
0:28:02	間違いなく当てはまらないと思っておりますので、あくまでもここは各そういったことをやってるんですよって言った、そういった意味合いで、ちょっと書かせていただいたっていうのは正直なところでございます。で、3. 今回、年度 1.
0:28:19	3 年で 3.9 た。
0:28:23	ベーターについて、そこを話の論点とするのであればですね、当然ながらこの種統計手法の話はですね、全然添俎上には入ってこないと。
0:28:36	思っておりますので、そこはですね削除した方が誤解を招かないっていうこともあるかと思えます。
0:28:43	説明してないむしろ削除っていうのは、ポジティブに考えて入れてもらったほうがいいと思うんですけど。
0:28:51	ちょっと、なのでここはあくまでも過去こういったやり方をしていたっていうお話でございまして、今回の 3 点で、各年度 1 点で今、3 年で 3 点で良いということの、
0:29:04	補足ではございません。はいはい、わかりました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:10	まあ、ちょっとこのペースでいったら終わらないんで、次行きましょう。はい。
0:29:16	なので新居参与和田。大体わかりました。大体わかりました。ちょっと直すところは修正いただければと思います。で、2 ページ目と3 ページ目も、
0:29:29	下がりですかね、ちょっと資料の位置付けをちょっと明確にしてもらって。
0:29:35	ていうところですかね。はい。
0:29:39	はい、承知しました。じゃあ次ナンバーツー行きましょう。はい。
0:29:48	ナンバーツーはこれいいんですけど、
0:29:52	香港なご規制序さですけこんなこと言っちゃっていいんですけど。
0:29:57	日本原燃浜中です。ナンバーツーはですね審査会合の中で、すでに回答済みでそのあとのラップアップの時もここはもう回答不要というふうに言われたんですが、ちょっと指摘事項の番号をとりあえずいただいた。
0:30:14	指摘一通り並べたこと、並べた上でちょっと今回資料を作り、1 たん作ったんですけども、
0:30:22	回答得ようということであれば、このナンバーツーはそもそももう、資料からは削除してしまって、紙で回答が必要な指摘事項を1 から順番に改めて並べ直して、
0:30:34	ご提示するのがいいのかなとは思ったんですが、今回はとりあえず、フルスペックでということで、いただいたものは全部資料に落とし込んだという位置付けですのでご相談としてはここは、
0:30:46	審査会合から落としたいなとは思ってます。でしょうか。落としてもらっていいですし残すんだったらその前回会合で回答済みっていう。
0:30:57	ことにした方がいいと思いますね。
0:30:59	で、前回会合で回答したんですけども、
0:31:03	付加価値をつけてもう1 回説明したいっていうことであればそれはとがめないんですけど、ちょっと付加価値を付けるのがあんまりそんないなと。
0:31:14	前回会合で原燃としても検討してば言いますと言って、そのあと電力とかといろいろ議論した結果として、ちょっとこういう話になってます猪野入れんだったら、
0:31:25	いいんですけど、削除していただいても構わないし、残すんであれば前回会合で回答済みとかですね、ちょっとそういう対応だと思います。或いはちょっと付加価値をつけて、
0:31:37	回答をリバイスするっていう、
0:31:40	3 択です。
0:31:42	はい。日本原燃浜中です。付加価値は今回特につけておりませんし、審査会合の時間が限られているので、すでに回答済み。議論の必要がないものについては資

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	料から落としたいと思いますのでこのナンバー2と、この後に出てくるナンバー8も同じような位置付けなんですけれども。
0:32:02	この2点はあわせて資料からは落としたいと考えます。
0:32:08	はい、わかりました。
0:32:10	はい。では続いてナンバー3の方の説明に移らせてください。
0:32:16	はい。
0:32:17	はい。日本原燃の野澤でございます。
0:32:20	資料の方は6ページ目になります。こちらについては、2010年の
0:32:28	当時のご指摘事項として軽微な燃料損傷の影響が2012から2014年度に限定されることの説明ということになります。
0:32:38	まずはこの6ページ目ですね回答というところになりますけれども。
0:32:42	各種分析、結果であるとか廃液の移送処理状況等の状況を踏まえまして、以下の以下の理由の通り限定されるものと推定したというふうに整理しております。1点目としましては、2011年度までにつきましては、
0:33:00	2010年12月以前に発生した廃液の割合が多くを占めてきたと考えられることと、2点目としては、2015年度以降については、セシウムの濃度が低下傾向にあるという事実と、
0:33:15	全αの核種は未検出であったという事実を踏まえて影響を受ける廃液が2014年度までで収束したと考えられます。
0:33:26	もう少しですね事実関係と、推定につきまして次のページ以降で少し整備をさせていただきます。まずはこの7ページ目になりますけれども、
0:33:38	上上段上半分のところですが、資料の分析結果、これ事実ということで、前回のですね、審査会合でも、資料として
0:33:51	ベースとしているデータになります。
0:33:55	はい。
0:33:58	真ん中から下になりますけれども、こちらはですね原子炉冷却材中の要素131の濃度ということでこちらも事実ということになりますけれども。
0:34:08	2010年の12月8日、9日超過ということで8日からですね9日にかけて濃度が上昇し、さらに10日で、またさらに上昇しているという傾向が見られえますと、
0:34:24	この時期というのが当時のですね、燃料棒からの微小な漏えいの時期に関係してくるということになります。
0:34:38	続いて8ページ目になりますけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:42	こちらはですね廃液受け入れタンクというものがございまして、実際に交易分離処理をする手前のですね、手前のところでまとめられている廃液のタンクになります。
0:34:57	これAとBと、2種類ございましてまずこの8ページ目のところではタンクAのところの廃液のを、
0:35:07	収支状況ですね、棒グラフで年度展開しているというところでございます。
0:35:13	このグラフにつきまして下3日、読み取り方なんですけども。
0:35:19	赤字で書いているところは事実として押さえられている情報になります。
0:35:26	一方で青字で記載しておところは推定として押さえ整理しているところになります。
0:35:34	その上でそれぞれの各年度ですねタンクの容量を残液等ですね、立米数で示してございます。
0:35:44	緑の緑色のところが、廃液を軽れた時期、タンクに受け入れた時期。
0:35:52	それから、グレーの斜め線のハッチングのところにつきましては、タンクから実際にその固化処理するために、処理をしてタンクから減った立米数を示しております。
0:36:06	残りのタンクに残っている立米数というのが、残液ということで黄色、黄色のですね、四角で整理したのになります。
0:36:17	さらにこの各年度ですね下のところに赤でプロットしてございますけども、例えば2010年度の後半のところ12月9日ということで、
0:36:29	燃料棒からの微少な応援があったと。加えてその翌年の1月7日から1月1日にかけて、燃料の取り出しをしているという事実があります。
0:36:43	その他2011年度以降につきましては、それぞれ廃液処理をした、言い換えますとその代表資料として選定した廃棄体に繋がる。
0:36:55	処理バッチの部分といったところをプロットしてございます。
0:37:01	そういったところの関係性を踏まえまして8ページ目の上段にですね言葉で文字で整理してございます。
0:37:08	まず一つ目のマルにつきまして※の1の部分になります。※の1の期間につきましては、2010年、10、2010年12月以前。
0:37:20	はですね、燃料方からの文書微小な漏えいは発生していないということでそもそも廃液の影響はなかったというところと言えます。
0:37:32	二つ目の丸になりますけどもこちらは※の2の部分です。これは原子炉水が廃液受け入れタンクに移行するまでに数ヶ月程度のタイムラグがあると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:45	ということで、実際にはこの廃棄受入タンクに到達するまでの間にですね、さらにその上流側のルートがありまして上流からの下流のものを廃棄受けタンク。
0:37:57	にですね、到達するまで数ヶ月程度、時間がかかるというところ、一般的にかかるというところもありますので、こういったまずタイムラグが生じていることと、
0:38:10	そもそもの 2010 年、12 月に辨野廃液といったことが残存していたと。
0:38:17	ということで影響が顕在し、しなかったというふうに考えてございます。
0:38:24	三つ目の丸につきましては、こちらの推定になりますけども、米野さんの範囲になります。
0:38:30	原子炉水が、廃液受け入れタンクに移行し始めて、燃料棒からの微小な漏えいの影響を受けた可能性が高いと。
0:38:40	これについては前のページで示しております通り分析結果でもですね $\alpha$ 各種の検出がされているといったところの結果と、照らせ照らし合わせればですね、2010 年 12 月以降の廃液が大半を占めていて、
0:38:58	影響が顕在化したものと考えてございます。
0:39:02	丸の四つ目になります。こちらはこちらにつきましても推定ということで、※の 4 の範囲でまとめておりますけども。
0:39:12	分析結果としてはですね 2015 年度以降は、 $\alpha$ は、NDという結果もございましてので、燃料棒からの微少の漏えいの影響が収束したものと考えてございます。
0:39:27	こちらがタンクへの状況をですね、同じような考え方で 9 ページ目につきましても、計れ短期のビール廃液のですね収支関係の状況を、
0:39:42	グラフ、整理でございます。
0:39:46	基本的にはですねタンクBにつきましても、この上段に記載しております。文章、内容につきましては、基本的にはタンクへの、
0:39:58	状況と同じだと、いうふうに考えております。
0:40:04	はい。というところで詳細は割愛をいたしますけども同じような状況だというふうに我々として推定してございます。
0:40:16	はい、江藤指摘事項の 3 番目の内容につきましては以上です。
0:40:25	規制庁。
0:40:31	例えば受入タンクABと、
0:40:36	最終的に分離装置に繋がるんだと思うんですけど、そのその文書処理フローの関係がわかるような図でございませうか。
0:40:50	日本原燃の澤でございます。ちょっとですね我々の中でちょっと 9 電さんの方と少しそこら辺の系統のところはですね状況を、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:41:04	確認をしているところでございます、この説明の中で系統全体の系統が必要というところであればですね、ちょっと
0:41:15	次回、ちょっと準備できるようにしておきたいと思っております。以上です。丹秋田オオシマですと、タンクABは、
0:41:27	同様つつ、文書が1個入っていくような、そういったものなんですかそれとも中子バッチで、
0:41:37	この期間をタンクから、この期間タンクBからみたいな感じで切り換えながら処理をされていくんでしょうか。
0:41:47	日本原燃の沢でございます。とおっしゃった九州電力さん、この点、回答をお願いいたします。
0:42:27	日本原燃の沢ですけども、主電力さん聞こえておりますでしょうか。
0:42:37	九州電力の江口でございます。水戸が回答できておりませんでした。再度説明させていただきます。
0:42:44	受けランクABの処理につきましては
0:42:54	ドットが切れて、
0:42:57	弊社明確さん音が聞こえないんですが、
0:43:03	中止電力の江口ですが音声聞こえていますでしょうか。わかりました。
0:43:08	はい。
0:43:09	九州電力江口からご説明させていただきます。
0:43:13	受け入れタンクABの処理につきましては、まず
0:43:18	タンクの例えばNaタンクを処理するというふうになった場合、タンクが残量が少なくなるまでは処理しまして、常にBタンクに切り替えるということをやっていますので、
0:43:30	タンクの溜まっている。
0:43:33	容量によって処理を切り替えると。
0:43:35	ことを、運用しております。以上です。
0:43:40	支社長の志賀です。
0:43:44	これも切り換えながら、
0:43:50	廃液を処理されるってことで、どこところについては承知いたしました。
0:43:57	大丈夫。
0:44:00	感覚として、その切り替えるスパンというのは、たま年間の処理。
0:44:05	両方にもよるんだと思うんですけど、そんなに、例えば、1年かけて、タンクを処理するみたいなそんな長いスパンではなくって、もう本当に月単位ごとに切り換えられ、
0:44:18	というような運用されているんでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:24	はい。九州電力の江口です。聞こえてますでしょうか。
0:44:28	お願いします。タンクの処理の期間につきましては年、月単位で切り換えということはありません。
0:44:39	こちらの原燃さんに利用してもらった資料の 8 ページ 9 ページに書いています通り、
0:44:47	年間に、ペタンク切り換えは 1 階、二階、三階、3 回ほど切り換えをさせていただきます。
0:44:59	以上です。
0:45:04	3 規制庁の大嶋です。
0:45:08	そうすると、
0:45:10	この、
0:45:12	その辺のその何でしょう。その期間にどっちのタンク。
0:45:17	から、
0:45:18	どっちのタンクに入っている廃液を処理していました。
0:45:24	というような、そういったスケジュール。
0:45:28	間も示していただいてもいいですかね。
0:45:31	じゃねえかちょっと待ってください。
0:46:08	すいません渡しましたオオシマなんですか。
0:46:12	ちょっと今、関係Bとかがって話が出てきますし、あとはそのタンクに移行するまでに正ヶ月程度のタイムラグがあるみたいなお話もあったんで、何か。
0:46:27	なんでしょう。
0:46:28	廃液受け入れから。
0:46:30	実際に処理が完了するまでの、何でしょう。フローフローっていうんですかね。
0:46:37	だからそういったところの
0:46:39	タイムラグ間、
0:46:41	鉄とか、処理フローがわかるようなポンチ絵をですね、
0:46:48	わかりやすいものをご用意いただいてもよろしいでしょうか。
0:46:56	日本原燃の野澤でございます。
0:46:59	承知いたしました先ほどおっしゃられたちょっと全体がわかるような処理のフローといった、遠地
0:47:10	等ですね、ちょっと整理できるようにちょっと次回準備させていただきます。以上です。
0:47:19	よろしく願いいたします。
0:47:26	余談なとったけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:37	名称コメントポニーさんは、ああそうかなと思うけど、これ要はもうこれ以上ないんだろうねもう。
0:47:51	日本原燃の野坂でございます。
0:47:53	我々としてもですねちょっと事実関係をですね整理していく中でやはりこの※の4につきますはちょっとこれ以上の、
0:48:02	情報というのはちょっと差が導き出せないというのが正直なところでございます。
0:48:09	わかりました。
0:48:10	ちょっと大塚さんもいなくなっちゃうから、どんどん進んじゃうNo. 4 ちゃうじゃNo. 4に行きたいと思います。
0:48:18	先に大塚さんあれですよねちょっと過ぎて確認しておきたいところをちょっと言っ いてもらえます。はい。すいません私も
0:48:30	実は午後ずっと打ち合わせがあつてがヒアリングに参加する直前に見たので、見 きれてないというのは正直言ったんですけど、さっき大塚さん言った気になつて るところ。
0:48:42	代表性のやつちょっと誰調整してた方がいいと思うんですけども。
0:48:47	そうですねナンバー4の回答に関しては、3カ年の算術平均地図での設定の話。
0:48:54	これは各年度発生本数は同じぐらいだということであれば多分回答でいいと思っ てます。
0:49:02	ウエノそのサンプルの代表性の件に関しては、今回その廃棄体の分析をしてると いうことなので、
0:49:10	その一体ウエノは、分析した廃棄体が粘土を代表してるのをどう言うかってことだ と思うんですけども、その根拠としてせえと表面線量が高いから、代表性がある んですっていう。
0:49:24	ことになってると思うんですが、何つうのは、何て言いますか、例えば表面線量が 高いってことはγ核種が高いということなので多いということなので、
0:49:34	スケーリングファクターとしては小さい側の評価になりませんかと。
0:49:39	通ったときにどう回答されますか。
0:49:46	日本原燃の沢でございます。
0:49:49	12 ページ目の資料のページのところ、そういう意味でちょっと少し補足させてい ただきたいんですけども、我々ですね、代表資料の選定にあたっては、その表面 性量が高いところの、
0:50:05	部分ではなくて、その線量率の分布幅が多いものを、もうアンド条件で選定してい るとところを、
0:50:17	がポイントになります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:20	赤い、一番高いものを選ぶのではなくて、この 12 ページ目の表にもあります通り、その年度で製作された廃棄体の中で、
0:50:31	割とその発生本数の多いものを、いわゆるここが分布が多いというところに繋がるんですけども、こういったところを、ある一定の分布から多いものから選定することにより、
0:50:44	その年度を代表する、その信頼性が高い、代表性の高いものが選定されるであろうというふうに我々として考えたものになります。以上です。
0:50:57	はい規制庁の大塚でございますちょっと確認なんですけれども、表現線量当量率分布が多いってこれはどういう意味なんですか。
0:51:09	例えば 2012 年でいきますと、
0:51:12	12 ページの表の右端のカラム、右上のカラムですね。
0:51:17	0.008 が 1 本、0.015 が三本、0.02 が 1 本って書いてありますけれども、
0:51:24	これは 2012 年にはトータル 5 本の廃棄体が発生していて、そのうち 0.0015 ミリシーベルトパーアワーの表面線量率を持つやつが、三本ありましたということなんですけど、
0:51:38	そうそういうご理解でいいですか。
0:51:41	日本原燃の沢でございます。まずこの 12 年度につきましては、トータルで 7 本発生してございまして、この一番右側の 1 本と三本と 1 本に加えてその左隣にあります最大 1 本、それから最終一方、
0:51:59	合わせて 7 本まず発生しているところになり、そういう見方になります。その上でちょっと先ほど言われた表面線量当量率分布が多くと。
0:52:10	いうのは、例えばこの 2012 年度の話に当てはめると、その当該の例えばその 0.015mSv、ここの中で発生した同じ線領域の本数が多いものと、
0:52:25	という意味合いで記載させていただいたものになります。
0:52:30	以上です。
0:52:32	はい規制庁の大塚でございます。わかりました。全部で 7 本発生していて、そのヒストグラムの中心処理ましたってことですよね。
0:52:41	だから中心地というか、何ていうんですか。やっぱり頻度が一番大きなものをとってますということでもいいんですよね。
0:52:50	はい。日本原燃の澤でございます。いわゆるその最頻値というような意味合いでございまして。まっすぐです。はい。規制庁の大塚でございます。承知しました。
0:52:59	す。そうすると、この赤字で書いてあるところの後ろ半分って何か意味があるのかなっていうのが、
0:53:11	正直ダイイッカン思いましたということぐらいですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:21	この 1、
0:53:23	2、例えば 2012 年でいけばこの赤字で書いてあるところの、戸塚後、
0:53:34	なお、その文言ってあまり意味をなさないような気もするんですが、そうでもないのか。
0:53:39	おはよう。
0:53:40	そうだね。
0:53:42	本件、
0:53:43	山中です。比較的高いところ後半の部分ですけども、2012 年で見ると、三本のグループが一つしかないの、
0:53:53	あまり後半の文章が効いてこないんですけども、20013 年度になりますと、
0:54:06	13 ページ目のグラフの方でいくと、
0:54:13	エンジとしては、0.0056 から 0.01 と、あともう一つ、0.01 から 0.00018 と、この二つのグループが同じ 3 本ずつ出てきていますということになるので、その場合は、実燃料が高い方のグループから選ぶと。
0:54:32	そういった場合にはこの後半の定義が効いてくるのかなと、そういう考えでございます。
0:54:40	はい規制庁の大塚でございます。このご趣旨はわかりました。
0:54:48	うん。
0:54:49	お任せしますけれども、
0:54:53	要は表面線量率が高いものを選びましたっていうとそのスケーリングファクターの設定の観点から不当組成比がちっちゃい側の計算になりますよねって言われた時にどうするのかなんてのが、
0:55:03	体感疑問だったんですが。
0:55:06	要はその年度ごとに全部測って表面線量全部測って最頻値でとってます。なので年度代表してますということであればそうなのかなと思いましたということです。はい。以上です。
0:55:22	日本原燃の浜中です。今大塚さんからご指摘のあった、線量が高いということは γ 核種が多いので比率に比率は小さく出るのではないかとということに、12 ページ目の代表性の。
0:55:37	あれですね、ここで、廃棄体を製作する際に、
0:55:43	今回は扇状タンク内の方の廃液だということなんですけどその中を攪拌しているので、そのバッチの中で作った廃棄体については、基本的にまぜられているので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:55	中の各週機器っていうのは均一になっていると、いうふうに考えております。なので、その地質な状態で、比較的線量当量率が高いものを選ぶんですけど。
0:56:09	分析する際により精度がそうですね今じっくりだとか、低いところで
0:56:16	学習費の方のスケーリングファクターにするという形を設定するよりは高い側の方をターゲットにして設定した方が、全体の分布に対するブレ幅が小さくなるのではないかというちょっと、
0:56:30	必ずしも完璧な技術的な根拠にはならないかもしれませんが中から選ぶとすればこのやり方が比較的精度の高い推定ができるんだろうというふうに考えて代表性を考えております。
0:56:47	はい規制庁の大塚でございます。そういうご主張だというのは理解した上でなんですけれども、要は廃棄体の中が攪拌し、要は七本例えば 2012 年は 7 本作った時に東洋はきちんと攪拌しているので、
0:57:00	中は均一ですというご主張だと思んですけど、そうすると表面線量率が桁で違うのは何でなのかなってのがあるんですよ。
0:57:10	なかなか均一な廃棄体が 7 本ありますと。
0:57:13	最大値と最小値で見ると、桁が違いますよね。それは何でなんですか。
0:57:20	均一なのになんで桁で違うんですか。
0:57:29	という議論になるんじゃないかなと思ったということ。
0:57:33	です。
0:57:34	浅野。
0:57:36	あそこご説明できるのであれば構わないと思ってます。
0:57:45	はい。日本原燃の浜中です。今おっしゃられたようなご指摘ははい。こちらもちょうと重々理解しているので、技術的にちょっと完璧でない部分はあるというのは認めるところではございますただ、
0:58:02	何でしょう、ケースバイケースでその選び方を変えるというよりは、こういう廃棄体を製作する、一般的な状況からこういう選び方をすればどの年度でも適用できそうな考え方を設定して、まずは運用していると。
0:58:19	ということで、現状としてはこういうルールで、妥当なのではないかというところまではいえる、いえるというふうには思うのですが。
0:58:31	はい。
0:58:33	いかがでしょうか。
0:58:36	はい規制庁の大塚でございます。
0:58:39	いやこちらとしては別に回答誘導するつもりはないので

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:43	ご説明を聞いていて、なるほどなと思えるところもあれば、いやその御説明だと僕は矛盾してるんじゃないですかってところも、あるということを率直に技術的にお伝えしたところですので多分この場で議論する話じゃないと思ってますので御説明については、
0:59:01	おっしゃることは理解しました。
0:59:07	規制庁沢です。私あんまり機能について決定ないんですけど。
0:59:14	ちょっと検討いただいてちょっとね立場的にはちょっと解決していただきたいですね
0:59:22	ちょっと解決してくれないと困る。次の会合で終わらせないといけないから、
0:59:29	原燃さんは解決できそうですか、今の話は。
0:59:45	あ、真田さんすいません大塚です。ちょっとそろそろ行かなきゃいけないわけじゃないので、ちょっと
0:59:52	今今
0:59:54	ある種、ある種平場で何かいえること言えないことがあるので、ちょっと相談させてください。はい。はい。お願いいたします。
1:00:04	ちょっと議論がついていけなかったけど、ちょっと待ってもらえますか。
1:01:42	ちょっと聞いてみて、全町のオオシマです。
1:01:47	と、このナンバー4については何かNo. 1 との話にも何か少し関わるのかなと思っているんですけども。
1:01:55	やはり
1:01:57	原燃さんの御説明をですね通す。
1:02:01	妥当性をご説明していただく上では、やはり
1:02:05	ここ、結構硬いの。
1:02:09	何でしょうその近世っていうところをですねしっかり何でしょう、ご説明いただき、
1:02:16	変更サキノいただくことが重要なのかなっていうところもちょっと聞いてて思いました。
1:02:21	ただそういったその説明を補足できるような、何かデータとかって、
1:02:28	ないんですかね。
1:02:30	こういうデータがあって、均一になってますっていうような、
1:02:42	それはベント固化体を製作するような、
1:02:47	なんでしょうね。家庭でしっかり攪拌されているとか、そういった設備的な面でも御説明。
1:02:57	やり方あるのかなと思うんですけども、その辺いかがでしょうか。
1:03:04	表現の差でございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:05	衛藤先ほどのその均一性の、についての説明につきましてはちょっと少し我々今手元に情報がないというところもありますので、少し
1:03:16	九州電力さんの方とも確認、調整をさせていただきたいというふうに考えております。その上でこの均一であることの説明を補足できるような、
1:03:28	材料をですね示せるように準備をしたいと考えております。以上です。
1:03:36	ちょっと待ってますか。
1:06:05	規制庁のオオシマですいませんちょっと相談しております、
1:06:11	できれば均一性っていうところなんかデータがあるんだったらいいんですけど、なかなかそれを準備するの難しいっていうところも理解するところですので、まずはその、
1:06:22	その、
1:06:23	課題を作る過程でどういった作業を行っているのかっていうのを、何かコンチなんかで示していただいて、機械的にこういう操作を行っているんで均一だと思ってますみたいな説明を、
1:06:37	はいただきたいと思うんですがいかがでしょうか。ただ過去にそういった政策のやり方とかがっていうのは示していただけていないんですね。
1:06:52	現年度の差でございます。どのような、どのような操作方法だったり、作業でを通じてその廃棄体が製作されているのかと言ったようなところを、
1:07:08	説明できるような施設情報ということで、ちょっとそういう視点では過去の資料では示しておりませんので、
1:07:23	そこをちょっと準備できるようにしたいと思います。以上です。すいません。よろしくお願いいたします。
1:07:37	そうします。
1:08:18	新規関連お時間、
1:08:32	じゃ次ちょっと飛ばしナンバー5 行きますか。
1:08:38	はい。日本原燃の澤でございます。
1:08:41	ご指摘事項のナンバー5につきましては 14 ページ目からになります。こちらについては、過去のニューシアの情報であったり、九州電力さんの方から当時の規制の報告を行ったかどうかといった情報。
1:08:55	と、加えましてスケーリングファクターの継続変更に関連して、向けない判断的プロセスになっているかどうかといったところのご説明です。
1:09:07	14 ページ目の下段の方に回答ということで整理しておりますけども、まず入社所入社情報等につきましては、ちょっと先ほどの 15 ページ目の方にいきますが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:09:19	2010年12月の微小な燃料漏えいということで、これは我々としても確認したベースになりますニューシアの情報につきましてはこの15ページ目の一番下段の四角足の中で
1:09:37	抜き出させていただきます。あわせて九州電力さんの方から、当時の旧原子力安全保安院さんと当時の常駐検査官さんの方に、
1:09:48	連絡されている状況、これについては九州電力さんの方から当時プレス、公表されているタイミングに合わせて12月9日と12月10日に、
1:10:00	連絡をしているという状況をまとめてさせていただきます。
1:10:07	もう1点が、14ページ目の方の回答の下段になりますけどもスケールリングファクター等の継続変更に関わるプロセス関係ということで、
1:10:17	結論から言いますと、我々の社内のルール、規定に基づいてですね、搬出される対象廃棄体をですね、申請するにあたってはですね、確実にスケールリングファクター。
1:10:34	評価を、が行われる仕組みとなっていますといったところでございます。こちらのですね対応プロセスの詳細につきましては、16ページ目。
1:10:45	以降ですね、整理してさせていただきます。まず16ページ目になりますけども、こちらはその規定に沿ったのを継続できるか否かの評価するための、
1:10:58	全体プロセスを示したものになります。報告、三つありますけども、この中で一番重要なところとしては一番上のピンクハッチングの、
1:11:08	政府継続のプロセスといったところになります。ここですね、問題ないと、継続が可能というふうにならばですね。
1:11:19	中ほどの3ポツの電力さんの方で自主検査ができるというステップになります。最終的にはですね、一番下段の4ポツ5ポツになりますけども。
1:11:32	自主検査が終わった後に我々原燃として、最終的には確認申請をするということになります。この大きな流れがありまして詳細をですね17ページ目以降でさらに展開しているというところでございます。
1:11:51	17ページ目につきましては、SF継続の大きな流れになりますけども、1ポツのところではまずはその妥当性確認をするということで、
1:12:03	前段としてこのまずはその括弧1で電力さんの方で、各種分析であったり、分析結果の確認、それからスケールファクター等の変動要因の確認、こういったところの確認がなされます。
1:12:18	その上で次のステップとして2ポツになりますけども、2ポツの(1)ということで電力さんの方から、我々原燃の方に、
1:12:28	その評価した分析した結果の情報を、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:34	いただいてですね、原燃としてその中身を、この 2 ポツの(2)のところで評価をするということになります。
1:12:43	この評価にあたっては、我々のですね原燃の保安規定の下部規定に基づいて実施することになります。
1:12:51	2 ポツの(3)につきましては、原燃の方で問題なしと、増資がされれば、電力さんの方に、ベースの結果を通知するという流れになります。
1:13:04	18 ページ目の方に行きまして、
1:13:08	3 ポツの電力自主検査ということで、ここでのポイントはですねこの(1)のところで、まずは
1:13:18	搬出する廃棄体ですね、予定される配点のデータをまず、電力さんから原燃の方に通知がなされます。
1:13:28	この 3 ポツ(2)のところで原燃は、自主検査をする前段階で、電力さんの方に、廃棄体の整理番号の発行通知をすることになるんですけども。
1:13:42	ここですね、我々としては、その発行する丹上前段として、しっかりとはい。電力さんが今後出す排気大学の発生年度が、
1:13:54	すでにSF継続確認済みなのかどうかといったところをしっかりと確認した上で、問題なければ整理版を発行すると。その上で 3 ポツ(3)で、
1:14:06	税務課の方で自主検査が行われるということになります。
1:14:11	少しこの 3 ポツ(3)のところで米印で補足しておりますけども、実際その廃棄体を検査する上では、最大放射能濃度を超えないようにと。
1:14:23	いったところの観点で、スクリーニングレベルということを設定しておりまして、このスクリーニングレベルを超えないように、管理された上で、
1:14:34	検査がなされるというようなところになりますので、19 ページ目に行きまして、申請断面のお持ちになりますけども。
1:14:44	4 ポツの方では、電力さんの方で実施した自主検査の結果、この廃棄体のデータをですね、電力が治療すると。
1:14:55	4 ポツ(2)に移りまして、その受領したデータ情報をですね、に基づいて、原燃として
1:15:05	監査をすると、電力さんの方に対して監査をするといったところになります。この時に、スケールファクターの継続案件があるということになればですね、我々もその監査の中で、
1:15:20	その妥当性をですねエビデンスを含めて、改めて確認をするといったステップになります。最終的に 5 ポツの方で廃棄物埋設確認申請ということで、
1:15:34	原子力規制委員会さんの方に申請書提出というものを我々が提出する申請書の中で、SF継続の評価をした実績、いい案件があればですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:49	この申請書の添付書類の中に入れて提出をするということになります。
1:15:55	この結果として採取、この結果としてSF等継続の年度がですね、順次更新されていくということになりますし、
1:16:05	我々原燃の下部規定の中では、その継続した年度について各社毎、各発電所ごとにですね。
1:16:16	継続した年度がいつまでなのかといったところの実績を更新し、管理しているという状況を見て、
1:16:25	で 20 ページ目につきましては、これはこれはですね、全体の審査会合の方でも計上させていただいた。
1:16:37	情報と同じになりますが、改めてですね、SF継続にあたっての基本的な考え方ということで、当時のですね
1:16:50	旧科技厅時代の通達文書の中に添付されておりました。廃棄体中の放射能濃度決定手順と、この中で四角枠で囲んでおります通り、
1:17:04	まずは前、前提として、三つの要素に変更がなければということで、この青文字でハッチングしているところで、でございますけども、ここに変更がなければ、変動は、基本的にそのスケールファクター等は変動しませんよと。
1:17:22	あとはその代表サンプルを分析し、継続して変動を確認すると。
1:17:29	その結果が従来値から有意な差異が認められない場合には、継続使用できると、この基本的な考え方を述べております。
1:17:41	その上で 21 ページ目につきましては、20 ページ目の考え方をもう少しそのブレイク前どれブレイクダウンしたもので表してございます。
1:17:53	それぞれの三つのほぼ変動要素の項目と確認する観点を整理してございますし、代表サンプルの放射化学分析結果による確認につきましては、
1:18:08	我々としては、指標としては、従来値に対して 10 倍を超えていないこと、こういったところの観点で見ているとすれば、この 21 ページ目の一番下段、一番最後の行になりますけども、
1:18:23	仮にこの従来SF等の 10 倍を超えていた場合にはですね、変動要素、三つの要素も含めて何か要因がないかといったところですし、
1:18:35	新規設定、或いはその設定変更を行ったところの検討をすることになります。
1:18:44	22 ページ目につきましては、ちょっと今回の時事象にちょっと重ね合わせたような形でちょっと整理をしておるんですけども。
1:18:55	ここで見せているフローはですね、こちらも前回の審査会合で 3、資料として提示しているものの再掲になりますが、このフローは、まずは全 $\alpha$ を、すみません。すみません。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:09	ちょっと状況わかりますちょっとすいません、ちょっと我々も少し別建で押してまして、状況わかったらちょっとまとめに入りたいんですけども、内容は了解いたしましたので、
1:19:22	1点だけ確認しちゃって、後の問いも全部確認して了解しましたんですけど。
1:19:27	例のNo.7の
1:19:30	補正案のちょっとところを確認したくて、文言は了解なんですけど確認したかったのが、
1:19:39	細かいけどまでを削除したのと、格別を削除したのはどういう理由だったんでしょうか。
1:19:48	日本原燃の浜中です。今のところは、最初が、内部でも1群から6群までの区画別放射能量と、
1:19:59	許可の要望をなるべく使って書いていたんですけども、ただ、その経緯がわからない人が見たときに、単純に1群から6分までの区画別っていうと、1群から6号群ごとに何か区別して放射能量を設定しているようにも読めるので、
1:20:16	もう少し丁寧にするために、まず1号の一部を埋設施設の区画別放射能量これは許可で設定していて、その中の一つで1群から6群の放射能量と、
1:20:27	というのが設定されているので、誤解ないように、表現を一応使ったというのが、この部分の理由です。
1:20:38	なるほど。だからその固有名詞で区画別放射能量っていうのはすなわち、1号でいうと1群から6減。
1:20:50	のことだからっていうことでしたっけ。
1:20:55	日本原燃の浜中です。1号の区画別放射能量というのが許可の申請書の中にあってその内訳群から6まで等、あと7分と、8群がピットごとに分かれてるのが少しあるんですけど。
1:21:10	そういう区画ごとに設定しているよということなので、一番から六番群は、そのうちのひとつでしかない。
1:21:17	なるほど。
1:21:19	わかりました。
1:21:20	なぜを削除したのはどういう理由だったんですか。
1:21:26	までがついていると、その1群から6群までを区別した、内部で区切ったというような表現に読めるので、1群から6群の放射能量という表現にすることで、
1:21:40	それが1セットなんだよと。
1:21:44	こんな考えを、郡委員も知った。
1:22:02	これは問題ないと思いますはい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:05	はい。今のところちょっとご相談なんですけど今補正案で、今いろいろちょっと悩みながら表現が誤解なきよう適切にということは考えているのですが、
1:22:17	なのでちょっとここはもう少しブラッシュアップすることはあります。で、前回のラップアップのときに、1分から6分までが、許可の値を超えないようにというのをまず足し、
1:22:30	出すという、いうことでご指摘いただいたんですがこれ、仮にこれが一番最後に来るだとか、
1:22:39	というような変更することは許容されますか趣旨としては全体は許可の範囲を超えないということは記載するつもりでいるんですけど。
1:22:49	文章ちょっと遂行していく中で最後に置いた方がいいかなという選択肢は、取り得るのかなというふうに言うと思ってるんですがそれは構わないでしょ。もちろん度どういった対応でも構わなくて、
1:23:03	あれですねこういった表現がいいんじゃないかっていう議論があったのは事実なんですけど
1:23:08	原燃の方で議論して、別の表現でいいということであれば、それはそれで、
1:23:14	構いませんが、うちといたしましてはですね。
1:23:21	ちょっと待ってください。
1:24:05	規制庁澤です。となりますと、了解しましたんでちょっとその次回のヒアリングでは、ちょっとファイナルセット版でいただきたいんですけども、うちの中で上げてかないといけないので、
1:24:19	はい。日本原燃のハマナカです次回までには案として固めたいと思います。
1:24:29	あります。切って、ちょっとこちらの都合で申し訳ないですけど、一通り確認はできたとします。
1:24:35	で、一部ちょっと、
1:24:39	大塚からも議論があった話は全くちょっと来週のヒアリングで少し調整させていただきます。
1:24:49	はい。日本原燃ハマナカで承知いたしました。よろしく申し上げます。
1:24:54	特になければ、これで終わりたいと思いますが、原燃さんよろしいでしょうか。
1:25:03	はい。日本原燃六ヶ所からは、はい。特にございません。はい。
1:25:08	すいません。本日のヒアリング終了したいと思います。どうもありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。